

# 杉原千畝「命のビザ」リトアニアの願い ユダヤ難民と神戸

コース・専攻： 国際交流 29期

グループ名：センポ神戸

メンバー：小林 孝志、吉本 慎一、長田 廣子、廣島 由美子

テーマは「杉原千畝 命のビザ」

## ●テーマ選定理由

テーマ選定の動機はNHKのテレビ番組で、杉原千畝の物語をみたのが始まりです。その中で、第2次世界大戦中に、ドイツ・ナチスの迫害から逃れてきたユダヤ避難民に対して、外務省の訓令に反して日本への通過ビザを発行し、約6000人の命を救ったといわれています。その勇気ある人道的な行動に感動し、詳しく調べてみたいと思い、このテーマを決めました。

最初に杉原千畝の活動をみんなで共有するため、2つの講演会に参加し、理解を深めました。次に各人が興味のある事柄に基づき担当分けし、文献などで調査活動を行いました。

## ●フィールドワークの実地

みんな期待して行ったのですが、事前調査不足で、暑い中、長い間歩いたり、また帰りの電車に間に合わないと、地元名物を食すどころか、駅の立食いうどんで済ませたり、ハプニングの連続でした。それでも皆、弱音を吐かず、頑張って西は、福山から東は名古屋、岐阜まで老齢に鞭打って、総計13回のフィールドワークを行いました。

最初に杉原千畝の活動をみんなで共有するため、2つの講演会に参加し、理解を深めました。

次に各人が興味のある事柄に基づき担当分けし、文献などで調査活動を行いました。

そして、フィールドワークです。みんな期待して行ったのですが、事前調査不足で、暑い中、長い間歩いたり、また帰りの電車に間に合わないと、地元名物を食すどころか、駅の立食いうどんで済ませたり、ハプニングの連続でした。それでも皆、弱音を吐かず、頑張って西は、福山から東は名古屋、岐阜まで老齢に鞭打って、総計13回のフィールドワークを行いました。

その中で、神戸シナゴークでラビの奥さんの紹介で、杉原千畝のビザで生き延びる事が出来たユダヤ人の子孫が神戸に来られ面会し話を聞くことが出来ました。その時に貴重な資料等をいただきました。本当にありがとうございました。次に瑞陵高校(5中学校)の校門前にある「センポ・スギハラメモリアル広場」を訪ねました。教頭先生 金子氏と面談 愛知県非売品の杉原千畝 資料を1冊ともう1部はコピーをいただきました。大変貴重な資料で参考文献にさせて頂きました。こちらも金子先生 本当にありがとうございました。

## ●結論

私たちは、この学習を通じてなにを学んだか？ ユダヤ人迫害によって600万人の生命を奪ったことは、事実であり歴史上最大の虐殺であります。今後このような虐殺がおこらないように 紛争のない世界を願うばかりです。

水野先生には、グループ発表から、冊子の校正まで、懇切丁寧にご指導いただき、どうにか完成までこぎつけることができました。本当にありがとうございました。

今後も、これで終わることなく、行けなかった千畝ゆかりの場所へ、今度は、ゆっくり観光をしながら、訪ねてみたいと思います。

